

PCBOX-II

PC・PRC 橋の詳細設計システム

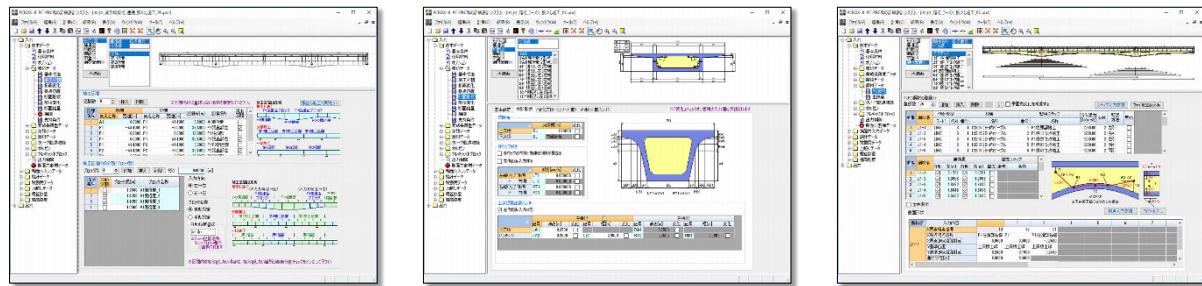
概要

PCBOX-IIは、張出施工・分割施工・一括施工によるPC・PRC連続橋およびラーメン橋の詳細設計(断面力解析→設計計算)を行うソフトウェアです。豊富な確認図により、入力と同時に側面図、骨組図、断面図、架設ステップ図、PC鋼材配置図等を視覚的に確認しながら入力作業が行えます。また、PC・PRC橋の概略自動設計(PCBOX-ISLAND-2)からの運動、連続高架橋の耐震設計支援プログラム(JT-KOHKA)へのデータ受け渡しがスムーズに行えます。

特長

- ①コンクリート断面(ラーメン橋・連続桁橋・単純桁橋)の箱桁橋・波形鋼板ウェブ橋・多主版桁橋※1・中空床版橋を対象とします。
 - ②道路橋示方書(平成29年11月～昭和53年1月)、設計要領第二集(平成26年7月～平成2年7月)に準拠しています。
 - ③格点、支点、施工ステップに名称を付け、各種データの関連性を持たせることでデータの変更作業を効率的に行えます。
 - ④クリープ係数、乾燥収縮度は内部計算のほか、施工ステップ毎に入力もできます。
 - ⑤側面図、骨組図、断面図、架設ステップ図、PC鋼材配置図、断面力図、応力度図のDXFファイル出力が可能です。
 - ⑥合成曲げ応力度、曲げ破壊安全度、平均せん断応力度、斜引張応力度、圧壊耐力、斜引張破壊耐力の照査を行います。
 - ⑦PRC桁については、RC断面計算、曲げひび割れ幅に対する照査を行います。
 - ⑧波形鋼板ウェブ橋は座屈照査※2、裏打ちコンクリートの照査が行えます。
 - ⑨上越し計算が行えます。
- ※1 主桁のみの計算となり、全体構造解析ではありません。橋面荷重、活荷重などの断面力は別途格子解析を行う必要があります。
- ※2 適用基準「道路橋示方書(平成29年11月)」には対応していません。計算例、手引き等の発行後に検討・対応予定です。

画面例



入力／構造データー施工分割

入力／構造データー断面形状

入力／鋼材データーPC鋼材

制限

径間数	:	30 径間	主桁格点数	:	500 格点※3
内室数	:	3 室	橋脚格点数(1本当たり)	:	30 格点※3
ボイド数	:	40 個	架設ステップ数	:	500 ステップ

※3 構造系完成時の格点数は主桁と橋脚の合計で800格点となります。

動作環境

Windows 7/8/10
Microsoft .NET Framework3.5 SP1(.NET FrameworkはMicrosoft社のWebサイトからダウンロードできます。)
Microsoft®, Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

販売価格

使用許諾料	15,000,000 円 (税込価格: 16,500,000 円)
サポートサービス料(必須)※4	1,500,000 円 (税込価格: 1,650,000 円)/年間

※4 サポートサービス料には、問合せサポートおよびマイナーバージョンアップ料が含まれています。